

# 台風シーズン到来!!

## 災害への備え、できていますか?

台風や豪雨、威力を増し続ける異常気象には、“日頃からの備え”が必要となります。いま一度、ご家庭の防災について考えてみましょう。

### 自分の命は自分で守る!

つい先月発生した台風15号で大規模な被害を受けた千葉県では、約6万7千戸（9月17日時点）で停電が続き、暴風で屋根が損壊した住宅などでは雨漏りも相次ぐ事態となりました。このような災害に対して大切なのが日頃からの備えと防災の意識です。

防災に対する考え方はさまざまですが、その中でも押さえておいてほしい考え方に、「自助・共助・公助」というものがあります。自助とは、災害時に自分の命は自分で守るという考え方。共助とは、自治会などの地域コミュニティで助け合うことを指し、公助は、公的機関が個人や地域では解決できない問題を解決することになります。

このうち共助・公助には限界があります。そもそも、自分の身を守ることはできないと、地域の安全を守ることはできませんし、公的機関の被災者への支援にも限界があります。そこで、まずは自助の意識を持つことが大切になります。

### 備蓄の準備

#### できていますか?

大規模な水害やその他の災害が発生した際に、物流機能が低下することは言うまでもありません。お店には人が殺到し、商品は品薄になることでしょ。さらに、自治体などの避難所にも十分な食料や備蓄品があるとは限りません。そこで、今の中から備蓄をはじ

めておくことが賢明です。備蓄品のストックがあれば、避難が必要になった場合にも非常用持ち出し袋に必要なものを入れて持ち出すことができます。乳幼児や高齢者といった家族構成を加味して備蓄するよう心掛けてください。

### 食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例 (人数分の準備をしましょう)

飲料水	3日分(1人1日3リットルが目安)
非常食	3日分の食料として、ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
その他	トイレトーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど

※大規模災害発生時には「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。  
※飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要。  
日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておくなどの備えをしておきましょう。

### 非常持ち出し品の準備

被災した場合、すぐに避難できるように非常持ち出し品を準備しておきましょう。人数分の必要なものをリュックサックに入れて、玄関などすぐに持ち出せる場所に置いておくことが大切です。



### 家族構成に合わせた備蓄品の一例

- 乳幼児がいる場合** 粉ミルク、哺乳瓶(消毒セット)、離乳食、紙おむつ、おしりふき、おもちゃ、母子手帳など
- 要介護者がいる場合** 介護用品、入れ歯、補聴器、大人用紙おむつ、補助具の予備、障がい者手帳など
- 常用薬が必要な場合** 最低3日分の薬、お薬手帳など
- 妊婦がいる場合** 生理用品、ガーゼ、さらし、新生児用品、母子手帳など
- ペットがいる場合** ペットフード、ペット用品(食品、トイレ、リード、ゲージなど)、飼い主の連絡先など

### あったら便利! お役立ちグッズ

- ラップ** 食器に被せることで、洗いを節約。安い品は熱に弱いので、メーカー品がおすすめ。
- 体ふきウェットタオル** 水が使えない時に体を衛生的に保つための必需品。
- 簡易トイレ** 水が使えなかったり、避難所でのトイレ不足の際に便利。
- ヘッドライト、乾電池式ランタン** 停電時には明かりはいくらあっても困らないもの。両手を使えるので作業もし易い。
- クーラーボックス** 保冷剤を入れることで臨時的冷蔵庫に早変わり。
- 使い捨てカイロ** 冬場に被災した場合の必需品。しっかり備蓄を。

### ハザードマップをお持ちですか?

串間市ハザードマップは、地区ごとの詳しい土砂災害危険箇所や指定避難場所を表示しています。いま一度、ご家庭で最寄りの避難所などをご確認ください。また、このハザードマップは災害に備えて大切に保管しましょう。



ハザードマップをお持ちでない方は、危機管理課(☎72-1111)までお問い合わせください。

### 備えあれば憂いなし!

## 避難のいろは

災害によって避難を余儀なくされることは仕方ありません。今回は、台風や豪雨で避難が必要になった場合を想定して、もしもの事態に備えましょう。

### ステップ1 接近前の準備

- 風雨が強くないときに行きましょう。
- 風で飛ばされそうなものは固定するか屋内へ保管
  - 飛来物に備えて雨戸やカーテン、ブラインドを下ろす。雨戸がない窓はガムテープで補強
  - 断水に備えて飲料水と生活用水を確保
  - 非常持ち出し品の確認
  - 避難場所への経路を確認

### ステップ2 余念なく情報収集を

台風や集中豪雨から身を守るためには、気象情報や避難情報が鍵を握ります。

串間市では次のような手段で避難情報を発表します。

- 防災行政無線 (避難勧告などを呼び掛ける際には、サイレンを吹鳴します)
- 携帯電話各社のエリアメール
- 広報車
- テレビの速報テロップ(Lアラート)

### ステップ5 避難場所はココです

串間市では各地区に主要避難場所を設置しています。安全な経路で迅速に避難しましょう。

- 福島・北方地区—中央公民館
- 本城地区—本城中学校
- 市木地区—市木支所
- 大東地区—大東支所
- 都井地区—都井支所(都井基幹集落センター)

### ステップ3 避難のタイミングを逃さない

避難情報が発表されたら行動を開始しましょう

警戒レベル	避難情報名	行動
4	避難指示(緊急)	●まだ避難していない場合は、すぐにその場から避難 ●外出するとかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難
	避難勧告	●避難場所へ避難 ●河川や海岸部にいる人は速やかに安全な場所に避難
3	避難準備・高齢者等避難開始 ※旧避難準備情報	避難に時間のかかる高齢者や要配慮者は避難を開始

※警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。

### ステップ4 避難時に気をつけること

避難情報が発表されたら行動を開始しましょう

- 荷物は必要最低限にして両手を使えるように
- 2人以上での行動を心掛ける
- できるだけ浸水していない場所を歩く
- 冠水している場合に車で移動すると、エンジン停止や水圧でドアが開かなくなるなど危険なので避ける
- 川が増水している場合には絶対に近寄らない



主要避難場所への移動が危険な場合は、近くの安全と思われる建物へ避難しましょう。